

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
国際マルチビジネス専門学校		昭和51年3月31日		野口 和江		〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央 4 丁目8番32号 (電話) 022-222-2328				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人東杜学園		昭和38年7月15日		野口 和江		〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央 4 丁目8番32号 (電話) 022-222-2328				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
商業実務	商業実務専門課程	総合英語学科 海外留学コース		令和 1(2019)年度	-	令和 2(2020)年度				
学科の目的	英語 4 技能を学習し、使える英語力を習得すると共に、在学中の語学留学を通じて異文化を理解した人間の成長を目標とする。									
学科の特徴（取得可能な資格、中退率等）	実用英検、TOEIC、観光英検、サービス介助士、マナー・プロトコル検定等									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数 又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼間	2,018.8 単位時間 - 単位		589.4 単位時間 - 単位	802.2 単位時間 - 単位	627.2 単位時間 - 単位	- 単位時間 - 単位	- 単位時間 - 単位		
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)						
30 人	13 人	0 人		0 %						
就職等の状況	■卒業者数(C)		3 人							
	■就職希望者数(D)		1 人							
	■就職者数(E)		1 人							
	■地元就職者数(F)		0 人							
	■就職率(E/D)		100 %							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		0 %							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		33 %							
	■進学者数		0 人							
	■その他									
	長期留学予定 2 名 (令和 4 年度卒業者に關する令和 4 年 5 月 1 日時点の情報)									
■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 株式会社佐藤織維										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体： - 受審年月： - 評価結果を掲載したホームページURL -									
当該学科のホームページURL	https://www.mbc.ac.jp									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A：単位時間による算定)									
	総授業時数		2,018.8 単位時間							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		470.4 単位時間								
うち企業等と連携した演習の授業時数		14.0 単位時間								
うち必修授業時数		2,018.8 単位時間								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		470.4 単位時間								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		14.0 単位時間								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間								
(B：単位数による算定)										
総授業時数		単位								
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位								
うち必修授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位								
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号) 3 人							
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号) 10 人							
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人							
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号) 4 人							
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人							
	計		17 人							
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		17 人								

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目標として教育課程を編成する。知識やスキルを実務に携わる企業の方々の意見を基に科目に加え、また可能な限り既設授業の単元にも取り込みを行う。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員会は企業関係者の外部委員と本校教職員で構成され、相互意見を十分に活かし、学内編成会議で決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	①
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
松本 陽建	株式会社丸三屋	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校 副校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
畑谷 紀衣	国際マルチビジネス専門学校 総務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
千葉 雅俊	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（8月、9月）

(開催日時（実績）)

第1回 令和5年8月29日 14：20～15：10

第2回 令和5年9月13日 13：00～14：00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

就職、国内大学編入学に加え、国際的キャリアを見据えた卒業後の進路指導について。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において、必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求にお応えできるよう、演習形式で授業を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業等より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業を実施し、その評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
留学準備講座	留学に備え、心構え、現地生活、出入国について準備を行う。	株式会社 留学ジャーナル
最終ガイダンス	留学に備え、心構え、現地生活、出入国について最終確認を行う。	
語学留学	約4か月間、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアで語学を学ぶ。	
語学留学帰国報告会	帰国後、留学の学びの成果を発表し、評価する。	
特別講座 サービス介助士	正しい介助技術とおもてなしの心を学ぶ。	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針	
研修規定を基に、卒業後に就業を目標としている業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を経て、学生への指導に活かしていくこととする。また、研修受講により実践的な技術や技能の向上をに努めている。	
(2) 研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 留学準備講座	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル
期間： 2022(令和4)年8月29日(月)	対象： 教員 2名
内容 コロナ禍後の海外渡航/留学について、心構え、滞在、語学学校等の最新情報(加)を受講。	
研修名： 留学最終ガイダンス	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル
期間： 2022(令和4)年9月29日(月)	対象： 教員 2名
内容 コロナ禍後の海外渡航/留学について、最新の出入国状況等(加)を受講。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 宮専各連中堅教職員研修	連携企業等： 宮専各連
期間： 2022(令和4)年12月2日(金)	対象： 教員1名
内容 2022年度は「学生理解と中堅職員の心と体のセルフケア」をテーマに研修を受講。	
研修名： ホテルビジネス実務検定セミナー受講	連携企業等： 一般財団法人日本ホテル教育センター
期間： 2022(令和4)年11月5日(土)	対象： 教員1名
内容 卒業後の進路のひとつであるホテル業について検定セミナーを受講。	
(3) 研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 留学準備講座	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル
期間： 2023(令和5)年8月下旬	対象： 教員 2名
内容 海外渡航/留学について、心構え、滞在、学校等方面別の最新情報(米、加、豪)を受講予定。	
研修名： 留学ファイナルガイダンス	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル
期間： 2023(令和5)年9月下旬	対象： 教員 2名
内容 海外渡航/留学について、方面別の最新の出入国状況等(米、加、豪)を受講予定。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 宮専各連中堅教職員研修	連携企業等： 宮専各連
期間： 2023(令和5)年12月上旬	対象： 教員 1名
内容 2023年度のテーマで研修を受講。	
研修名： ホテルビジネス実務検定セミナー受講	連携企業等： 一般財団法人日本ホテル教育センター
期間： 2023(令和5)年11月上旬	対象： 教員1名
内容 卒業後の進路のひとつであるホテル業について検定セミナーを受講予定。	
研修名： CASEC試験受検	連携企業等： 株式会社教育測定研究所
期間： 2024(令和6)年3月上旬	対象： 教員 1名
内容 TOEIC試験に代わるオンライン英語試験、CASECを受検予定。	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校関係者の方々からご理解を頂けるよう、評価の客観性を高めたい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	学校運営
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	教育活動・教育環境
(6) 教育環境	学生支援
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・価値観の多様化が進んだことで、社会が許容する考え方や行動の範囲が広がった。いかに相互理解を深る、共に働いて共生していくか。
- ・卒業生への支援体制構築。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期: 2023(令和5)年9月29日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第14条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施及び公表が義務付けられている。

本校では、平成27年度に学校関係者評価委員会を立上げ、以来毎年実施を行っている。自己評価を基本とし、外部委員の意見を頂戴し、学校運営に反映を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2) 各学科等の教育	学校運営
(3) 教職員	学校運営
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ
(11) その他	社会貢献・地域貢献・法令遵守

※ (10) 及び (11) については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 ())

URL : <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期 : 2023(令和5)年9月29日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 総合英語学科海外留学コース)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実技・実習	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		英語基礎演習 Listening	英語 4 技能Listeningについて基礎から習得する。	1前	23.8	-		○		○				○
2	○		英語基礎演習 Reading	英語 4 技能Readingについて基礎から習得する。	1前	23.8	-		○		○				○
3	○		英語基礎演習 Writing	英語 4 技能Writingについて基礎から習得する。	1前	23.8	-		○		○				○
4	○		英語基礎演習 Speaking	英語 4 技能Speakingについて基礎から習得する。	1前	23.8	-		○		○				○
5	○		日本文化研究	日本の文化を改めて理解する。	1前	23.8	-	○			○		○		
6	○		TOEIC	TOEIC問題演習により、高いスコアを目指す。	1前 2通	143	-	○			○				○
7	○		Speech& Presentation	論理的な英語でのスピーチ、プレゼンテーションについて学習する。	1前 2通	71.4	-		○		○				○
8	○		Tourist English	観光業界英語、旅行に関する実務的な事柄を英語を通じて習得する。	1前 2通	71.4	-	○			○				○
9	○		English Communication	英語ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話を行う。	1前 2通	286	-		○		○				○
10	○		Discussion	自分の意見を英語で表現する方法を学ぶ。	2通	47.6	-		○		○				○
11	○		Business English	英語によるビジネスメール、レター、電話対応等を学ぶ。	2通	47.6	-	○			○				○
12	○		Manner& Protocol	国際的なマナーやルールを学ぶ。	2通	47.6	-	○			○		○		
13	○		Global Studies	国内外の時事について学ぶ。	2通	47.6	-	○			○		○		

14	○		中国語	中国語の「聞く」「話す」を中心に、基礎的な会話を学ぶ。	2通	47.6	-	○			○							
15	○		韓国語	韓国語の「聞く」「話す」を中心に、基礎的な会話を学ぶ。	2通	47.6	-	○			○							
16	○		話し方講座	改めて美しい日本語を話せるよう学修する。	2後	23.8	-		○		○							
17	○		海外語学留学	約4か月間、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアで語学を学ぶ。	1後	448	-			○		○						○
18	○		語学留学準備講座	留学に備え、心構え、現地生活、出入国について準備を行う。	1前	47.6	-		○		○		○					
19	○		社会人マナー	社会人として求められる立ち居振る舞いについて習得する。	1前	23.8	-	○			○							○
20	○		パソコン実習	パソコンの使い方、word・excelの使い方等、文書作成や操作方法から応用まで実践で習得する。	1前 2通	71.4	-			○	○							○
21	○		就職ガイド	履歴書の書き方、自己PR、筆記試験対策、会社訪問の仕方、面接など就職活動全般について習得する。	1前 2通	71.4	-	○			○							○
22	○		秘書技能検定対策	秘書技能検定対策として、職場における言葉遣い、敬語、電話対応、ビジネス文書作成などの実務を習得する。	2通	47.6	-		○		○							○
23	○		実用英語技能検定対策	実用英検対策として、4技能をレベル別に習得する。	1前 2通	71.4	-		○		○							○
24	○		ホスピタリティ・コミュニケーション	心理学的コミュニケーション論を元に、接客業に不可欠なホスピタリティを学ぶ。	2前	23.8	-		○		○		○					
25	○		就職筆記対策	就職試験における、適性診断や一般常識問題の対策を行う。	2前	23.8	-		○		○							○
26	○		スポーツ大会	学生間のコミュニケーションをはかり、クラスの団結力を高めることを目的とする。	1前 2前	14	-			○		○	○					
27	○		アウトドア研修	校外にて東北の良さを再認識できるイベント・研修を実施する。	2後	7	-			○		○	○					

28	○	就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校卒業生を迎え、就職活動の体験談やアドバイスを聞く。	2 前	7	-	○		○	○									
29	○	ボランティア清掃	学校、仙台駅周辺の清掃を行い、モラルのあり方を確認する。	2 後	1.4	-			○	○	○								
30	○	市内観光ツアー	仙台の観光地を英語で案内するツアーを実施する。	2 前	5.6	-			○	○	○								
31	○	英語スピーチコンテスト	全国専門学校英語スピーチコンテスト出場に向け、校内コンテストを実施する。	2 後	35	-			○	○	○								
32	○	業界視察	卒業後の就職について関連企業を視察、見学する。	1 後 2 後	11.2	-	○				○	○							
33	○	特別講座 語学検定対策講座	各種英語検定試験に備えた集中講座を実施する。	1 前 2 前	22.4	-		○		○									○
34	○	特別講座 TOEIC対策	TOEIC試験に備えた集中講座を実施する。	1 後	11.2	-		○		○									○
35	○	特別講座 日本文化研究	日本の文化を改めて理解する。	1 前 2 前	11.2	-		○		○									○
36	○	特別講座 留学交流会	留学を経験した2年生と交流を持ち、留学の準備に加え、留学の目的を確認する。	1 前 2 前	5.6	-		○		○		○							○
37	○	特別講座 留学準備講座	留学に備え、心構え、現地生活、出入国について準備を行う。	1 前	2.8	-	△	○		○									○ ○
38	○	特別講座 留学最終ガイダンス	留学に備え、心構え、現地生活、出入国について最終確認を行う。	1 前	2.8	-	△	○		○									○ ○
39	○	特別講座 留学帰国報告会	帰国後、留学帰国報告会の開催に際し、企画、準備、設営を行う。	1 後 2 後	22.4	-				○	○								○
40	○	特別講座 留学帰国報告会	帰国後、留学の学びの成果を発表し、評価する。	1 後 2 後	8.4	-		○		○									○ ○
41	○	特別講座 サービス介助士	正しい介助技術とおもてなしの心を習得する。	2 前	22.4	-	△		○	○									○ ○
合計				41	科目	2018.8 単位 (単位時間)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	卒業認定単位を修得かつ学年毎に総時間数の80%を履修	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：	学期毎に出席率80%以上かつ各期末試験で合格(60点以上)の認定	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
国際マルチビジネス専門学校		昭和51年3月31日		野口 和江		〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央4丁目8番32号 (電話) 022-222-2328				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人東杜学園		昭和38年7月15日		野口 和江		〒 980-0021 (住所) 仙台市青葉区中央4丁目8番32号 (電話) 022-222-2328				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
商業実務	商業実務専門課程	総合英語学科 多言語コミュニケーションコース		令和1(2019)年度	-	令和2(2020)年度				
学科の目的	英語、韓国語並びに中国語を学習し、異文化理解を通じた人間的成長を目標とする。									
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	実用英語技能検定、TOEIC、観光英検、サービス介助士、マナー・プロトコル検定、韓国語検定、中国語検定等									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	2,132.2 単位時間 ※単位時間、単位いずれかに記入 - 単位		735.0 単位時間 - 単位	1,103.2 単位時間 - 単位	294.0 単位時間 - 単位	0 単位時間 - 単位	0 単位時間 - 単位		
	生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)						
30人	5人	0人		0%						
就職等の状況	■ 卒業者数(C) : - 人 ■ 就職希望者数(D) : - 人 ■ 就職者数(E) : - 人 ■ 地元就職者数(F) : - 人 ■ 就職率(E/D) : - % ■ 就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : - % ■ 卒業者に占める就職者の割合(E/C) : - % ■ 進学者数 : - 人 ■ その他 : - 人									
	2023(R5)年度新設									
	(令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)									
	■ 主な就職先、業界等 (令和4年度卒業者)									
	第三者による学校評価	■ 民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体 : - 受審年月 : - 評価結果を掲載したホームページURL : -								
		当該学科のホームページURL	https://www.mbc.ac.jp							
	企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)								
		総授業時数				2,132.2 単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				22.4 単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数				0.0 単位時間					
うち必修授業時数				2,132.2 単位時間						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				22.4 単位時間						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				0.0 単位時間						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				0.0 単位時間						
(B: 単位数による算定)										
総授業時数				単位						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位						
うち企業等と連携した演習の授業時数				単位						
うち必修授業時数				単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者				(専修学校設置基準第41条第1項第1号)					3人
	② 学士の学位を有する者等				(専修学校設置基準第41条第1項第2号)					10人
	③ 高等学校教諭等経験者				(専修学校設置基準第41条第1項第3号)					0人
	④ 修士の学位又は専門職学位				(専修学校設置基準第41条第1項第4号)					4人
	⑤ その他				(専修学校設置基準第41条第1項第5号)					0人
	計									17人
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数									17人	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目標として教育課程を編成する。知識やスキルを実務に携わる企業の方々の意見を基に科目に加え、また可能な限り既設授業の単元にも取り込みを行う。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員会は企業関係者の外部委員と本校教職員で構成され、相互意見を十分に活かし、学内編成会議で決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	①
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
松本 陽建	株式会社丸三屋	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校 副校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校 教務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
畑谷 紀衣	国際マルチビジネス専門学校 総務部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—
千葉 雅俊	国際マルチビジネス専門学校 広報部	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	—

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（8月、9月）

(開催日時（実績）)

第1回 令和5年8月29日 14:20～15:10

第2回 令和5年9月13日 13:00～14:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

就職、国内大学編入学に加え、国際的キャリアを見据えた卒業後の進路指導について。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において、必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求にお応えできるよう、演習形式で授業を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業等より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業を実施し、その評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
特別講座 サービス介助士	高齢者、障がい者への正しい介助方法を習得する。	公益財団法人日本ケアフィット共育機構

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針		
研修規定を基に、卒業後に就業を目標としている業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を経て、学生への指導に活かしていくこととする。また、研修受講により実践的な技術や技能の向上に努めている。		
(2) 研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： 留学準備講座	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル	
期間： 2022(令和4)年8月29日(月)	対象： 教員 2名	
内容 コロナ禍後の海外渡航/留学について、心構え、滞在、語学学校等の最新情報(加)を受講。		
研修名： 留学最終ガイダンス	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル	
期間： 2022(令和4)年9月29日(月)	対象： 教員 2名	
内容 コロナ禍後の海外渡航/留学について、最新の出入国状況等(加)を受講。		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： 宮専各連中堅教職員研修	連携企業等： 宮専各連	
期間： 2022(令和4)年12月2日(金)	対象： 教員1名	
内容 2022年度は「学生理解と中堅職員の心と体のセルフケア」をテーマに研修を受講。		
研修名： ホテルビジネス実務検定セミナー受講	連携企業等： 一般財団法人日本ホテル教育センター	
期間： 2022(令和4)年11月5日(土)	対象： 教員1名	
内容 卒業後の進路のひとつであるホテル業について検定セミナーを受講。		
(3) 研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： 留学準備講座	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル	
期間： 2023(令和5)年8月下旬	対象： 教員 2名	
内容 海外渡航/留学について、心構え、滞在、学校等方面別の最新情報(米、加、豪)を受講予定。		
研修名： 留学ファイナルガイダンス	連携企業等： 株式会社留学ジャーナル	
期間： 2023(令和5)年9月下旬	対象： 教員 2名	
内容 海外渡航/留学について、方面別の最新の出入国状況等(米、加、豪)を受講予定。		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： 宮専各連中堅教職員研修	連携企業等： 宮専各連	
期間： 2023(令和5)年12月上旬	対象： 教員 1名	
内容 2023年度のテーマで研修を受講。		
研修名： ホテルビジネス実務検定セミナー受講	連携企業等： 一般財団法人日本ホテル教育センター	
期間： 2023(令和5)年11月上旬	対象： 教員1名	
内容 卒業後の進路のひとつであるホテル業について検定セミナーを受講予定。		
研修名： CASEC試験受検	連携企業等： 株式会社教育測定研究所	
期間： 2024(令和6)年3月上旬	対象： 教員 1名	
内容 TOEIC試験に代わるオンライン英語試験、CASECを受検予定。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校関係者の方々からご理解を頂けるよう、評価の客観性を高めたい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	学校運営
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	教育活動・教育環境
(6) 教育環境	学生支援
(7) 学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・価値観の多様化が進んだことで、社会が許容する考え方や行動の範囲が広がった。いかに相互理解を深る、共に働いて共生していくか。
- ・卒業生への支援体制構築。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
板垣 佑子	Across THE Universe	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
加藤 ゆかり	株式会社留学ジャーナル	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期: 2023(令和5)年9月29日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第14条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施及び公表が義務付けられている。

本校では、平成27年度に学校関係者評価委員会を立上げ、以来毎年実施を行っている。自己評価を基本とし、外部委員の意見を頂戴し、学校運営に反映を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2) 各学科等の教育	学校運営
(3) 教職員	学校運営
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ
(11) その他	社会貢献・地域貢献・法令遵守

※ (10) 及び (11) については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL : <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期 : 2023(令和5)年9月29日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 総合英語学科多言語コミュニケーションコース)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実技・実習	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		英語基礎演習 Listening	英語 4 技能Listeningについて基礎から習得する。	1通	47.6	-		○		○			○	
2	○		英語基礎演習 Reading	英語 4 技能Readingについて基礎から習得する。	1通	47.6	-		○		○			○	
3	○		英語基礎演習 Writing	英語 4 技能Writingについて基礎から習得する。	1通	47.6	-		○		○			○	
4	○		英語基礎演習 Speaking	英語 4 技能Speakingについて基礎から習得する。	1通	47.6	-		○		○			○	
5	○		日本文化研究	日本の文化を改めて理解する。	1通	47.6	-	○			○		○		
6	○		TOEIC	TOEIC問題演習により、高いスコアを目指す。	1通 2通	190	-	○			○			○	
7	○		Speech& Presentation	論理的な英語でのスピーチ、プレゼンテーションについて学習する。	1通 2通 1通	95.2	-		○		○			○	
8	○		Tourist English	観光業界英語、旅行に関する実務的な事柄を英語を通じて習得する。	1通 2通 1通	95.2	-	○			○			○	
9	○		English Communication	英語ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話を行う。	1通 2通	381	-		○		○			○	
10		○	中国語 I	中国語の「聞く」「話す」を中心に、基礎的な会話を学ぶ。	1通	47.6	-		○		○			○	
11		○	韓国語 I	韓国語の「聞く」「話す」を中心に、基礎的な会話を学ぶ。	1通	47.6	-		○		○			○	
12	○		Discussion	自分の意見を英語で表現する方法を学ぶ。	2通	47.6	-		○		○			○	

13	○		Business English	英語によるビジネスメール、レター、電話対応等を学ぶ。	2通	47.6	-	○		○									
14	○		Manner& Protocol	国際的なマナーやルールを学ぶ。	2通	47.6	-	○		○		○							
15	○		Global Studies	国内外の時事について学ぶ。	2通	47.6	-	○		○		○							
16	○		中国語	中国語の「聞く」「話す」を中心に、基礎的な会話を学ぶ。	2通	47.6	-	○		○									
17	○		韓国語	韓国語の「聞く」「話す」を中心に、基礎的な会話を学ぶ。	2通	47.6	-	○		○									
18	○		話し方講座	改めて美しい日本語を話せるよう学修する。	2後	23.8	-		○		○								
19	○		社会人マナー	社会人として求められる立ち居振る舞いについて習得する。	1通	47.6	-	○			○								
20	○		パソコン実習	パソコンの使い方、word・excelの使い方等、文書作成や操作方法から応用まで実践で習得する。	1通 2通	95.2	-				○	○							
21	○		就職ガイド	履歴書の書き方、自己PR、筆記試験対策、会社訪問の仕方、面接など就職活動全般について習得する。	1通 2通	95.2	-	○				○							
22	○		秘書技能検定対策	秘書技能検定対策として、職場における言葉遣い、敬語、電話対応、ビジネス文書作成などの実務を習得する。	2通	47.6	-		○			○							
23	○		実用英語技能検定対策	実用英検対策として、4技能をレベル別に習得する。	1通 2通	95.2	-		○			○							
24	○		ホスピタリティ・コミュニケーション	心理学的コミュニケーション論を元に、接客業に不可欠なホスピタリティを学ぶ。	1後 2前	47.6	-		○			○			○				
25	○		就職筆記対策	就職試験における、適性診断や一般常識問題の対策を行う。	2前	23.8	-		○			○							
26		○	学科別海外研修旅行	現地研修により、異文化を体験し国際的視野を広げる。	1後	105	-					○			○	○			
27	○		スポーツ大会	学生間のコミュニケーションをはかり、クラスの団結力を高めることを目的とする。	1前 2前	14	-					○			○	○			

28	○	アウトドア 研修	校外にて東北の良さを再認識できるイベント・研修を実施する。	1 後 2 後	14	-			○	○	○				
29	○	就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校卒業生を迎え、就職活動の体験談やアドバイスを聞く。	1 後 2 前	9.8	-	○		○	○					
30	○	ボランティア清 掃	学校、仙台駅周辺の清掃を行い、モラルのあり方を確認する。	1 後 2 後	2.8	-			○	○	○				
31	○	市内観光ツ アー	仙台の観光地を英語で案内するツアーを実施する。	2 前	5.6	-			○	○		○			
32	○	英語スピーチコ ンテスト	全国専門学校英語スピーチコンテスト出場に向け、校内コンテストを実施する。	2 後	35	-			○	○	○				
33	○	業界視察	卒業後の就職について関連企業を視察、見学する。	1 後 2 後	11.2	-	○			○		○			
34	○	特別講座 語学検定対策 講座	各種英語検定試験に備えた集中講座を実施する。	1 前 2 前	22.4	-		○		○				○	
35	○	特別講座 TOEIC対策	TOEIC試験に備えた集中講座を実施する。	1 後	11.2	-		○		○				○	
36	○	特別講座 日本文化研究	日本の文化を改めて理解する。	1 前 2 前	11.2	-		○		○				○	
37	○	特別講座 留学交流会	留学を経験した2年生と交流を持ち、留学の準備に加え、留学の目的を確認する。	1 前 2 前	5.6	-		○		○		○			
38	○	特別講座 留学帰国報告 会	帰国後、留学の学びの成果を発表し、評価する。	1 後 2 後	5.6	-		○		○				○	
39	○	特別講座 サービス介助 士	正しい介助技術とおもてなしの心を習得する。	2 前	22.4	-	△		○	○				○	○
合計					39	科目	2132.2 単位 (単位時間)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業認定単位を修得かつ学年毎に総時間数の80%を履修		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：学期毎に出席率80%以上かつ各期末試験で合格(60点以上)の認定		1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。